



気持ちのよい挨拶をしよう！

5月の生活目標は「気持ちのよいあいさつをしよう」です。子どもたちは、挨拶をしているでしょうか。保護者の方や地域の方からの学校評価には、「元気のよい挨拶が聞かれる」という声がある一方で、「挨拶をしても返ってこないことがある」といったご意見もありました。学校では、日々の指導の中で挨拶の大切さを説いたり、運営委員会が中心となって朝の挨拶運動を展開したりしています。

5月14日（水）の給食の時間に、生徒指導主事が、TV放送で月目標が達成できているかどうか、子どもたちに振り返るよう、提案しました。

挨拶の「挨」は「押す、近づく」、「拶」には「迫る」という意味があり、「相手に敬意を払って近づいて」という意味があるようです。禅宗の「一挨一拶」が由来とされています。コミュニケーションの第一歩となる挨拶は、社会で生活していく上で昔から大事なこととされていたことが理解できます。世界各国、挨拶の言葉があることからからもそれが分かります。最近では、地域の中で挨拶することが防犯につながるとも言われています。挨拶の大切さは、誰しもが知るところです。

TV放送で紹介されましたが、右のように挨拶にはレベルがあります。少なくとも「挨拶をされたら返す」ことはしなければならぬと思います。

もっともよいのが、相手よりも先に自分から進んで挨拶をすること。これを目指して、学校全体で取り組んでいきたいと思っています。もちろん、私たち教職員も、自分から進んで挨拶をすることで、子どもたちの手本にならなければなりません。「レベル1」の先取り挨拶ができるように努めていきたいと思っています。

（このTV放送以降「校長先生、おはようございます」という子が増えました。）

もうすぐ運動会です！

いよいよ今週末が運動会。少し天気が気になるころですが、運動会に向けての練習も大詰めです。各学年の種目の練習も終盤になっています。高学年が中心となって進めている応援練習や係会で活動内容の最終確認もしています。潮見っ子が、個々の目標をもって運動会に取り組もうとする姿勢が、大型連休明け以降随所に見られました。

スローガンは、代表委員会を経て「友情魂見せてやる 151年目の新時代 仲間と未来へ走り出せ」に決まりました。昨年度の「150周年」を意識していると思われるスローガンに、子どもたちの潮見小学校への愛着を感じ、うれしく思いました。



【挨拶のレベル】

- 1 気持ちのよい挨拶を自分からする。（先取り挨拶）
- 2 気持ちのよい挨拶を返す。（相手の目を見て・相手の名前を言って）
- 3 挨拶を返す。（聞こえる声で）

